

目 次

I. 総括研究報告

- 「感染症の病原体を保有していないことの確認方法について」の改定に資する研究----- 1
五十嵐隆

II. 分担研究報告

1. 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況 ----- 6
砂川 富正
2. 排菌期間に関する論文のシステマチックレビュー----- 9
宮入烈、小林徹、明神翔太
3. 腸管出血性大腸菌の病原体保有者に対する抗菌薬投与と排菌期間の関連を検討
する後ろ向きコホート研究 ----- 19
岡部 信彦
4. 長期排菌に関連した微生物学的特性を明らかにするための菌株解析 ----- 25
伊豫田 淳

III. 研究成果の刊行に関する一覧表 ----- 29